

平成21年度

(平成20年度事業対象)

教育委員会事務の点検・評価報告書

平成21年12月

長門市教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に報告するとともに、公表しなければならないことになりました。

本市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、説明責任をはたすために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の事務の点検及び評価を行うこととします。

なお、本報告は今年度が最初の報告であることから、今後より分かりやすい報告書となるよう、点検及び評価の方法等については、適宜見直しを行っていくこととしています。

点検評価の実施方法

(1) 評価の対象

平成20年度に実施した教育委員会の事務事業について、「第1次長門市総合計画」に掲げられた政策、施策をもとに「平成20年度教育行政方針」のうち、重点施策事業を基本として選定しました。

(2) 評価の観点

本市で実施している行政評価の手法を活用し、事業の成果及び課題等の総括を行い事務改善の観点から事務の執行方法等について検証を行うこととしています。

(3) 評価の主体及び方法

担当課において「事務事業評価シート」及び「行政評価シート」等の活用により、自己評価を実施しました。

この報告書を作成するにあたり、次年度以降は、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとします。

1 平成20年度長門市教育委員の活動状況

(1) 教育委員会議の開催状況（平成20年度）

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて臨時会を開催することとしています。

- ① 定例会・・・・・・・・・・12回（原則として毎月第4火曜日）
- ② 臨時会・・・・・・・・・・1回（随時）
- ③ 協議会・・・・・・・・・・0回（随時）

(2) 教育委員会議での審議及び報告

教育委員会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、議案審議及び報告を行いました。取り扱い案件は、下記のとおりです。

付議案件等（平成20年4月～平成21年3月）

区 分	内 容	件 数
議 案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	1
	規則及び規程の制定または改廃に関する事	9
	議会の議決を経るべき事件の議案に関する事	4
	人事に関する事	3
	附属機関等の委員、員の委嘱等に関する事	14
	通学区域に関する事	2
	県費負担教職員の任免、その他の進退の内申について	1
	その他	3
協 議		11
報 告		19

(3) 教育委員の活動

平成20年度「長門市学校教育基本方針」の趣旨を各現場で具現化するため、授業参観や指導助言をとおして望ましい教育の推進を図ることとしています。

① 幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/30	神田小学校	9/30	深川中学校	11/11	宗頭幼稚園
6/4	菱海中学校	10/1	通中学校	11/17	三隅中学校
6/30	向津具中学校	10/8	明倫小学校	11/18	日置中学校
7/1	俵山小学校	10/22	油谷小学校	11/19	仙崎中学校
7/9	伊上小学校	11/7	浅田小学校	1/29	通小学校

② その他の活動

*研修会等

- ・平成20年度山口県都市教育長会議 平成20年4月17日
- ・平成20年度山口県市市教育委員会協議会総会 平成20年4月17日
- ・平成20年度山口県市町教育委員会教育長会議 平成20年4月17日
- ・平成20年度山口県市町教育委員研修会議 平成20年4月17日
- ・平成20年度夏期山口県郡市教育長会議 平成20年7月10日から11日
- ・県・市町教育長意見交換会 平成20年7月30日
- ・平成20年度市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック 23府県）
平成20年9月4日～5日
- ・平成20年度中国地区郡市教育長会定例総会並びに研究協議会
平成20年10月23日から24日
- ・平成20年度長門市学校教育研究大会 平成20年11月5日

*その他

- ・(財)山口県学校給食会 平成20年度第1回役員会（教育長）
平成20年5月30日
- ・(財)山口県学校給食会 平成20年度第2回役員会（教育長）
平成21年3月27日

*式典

- ・長門市立小学校入学式 平成20年4月 8日（火）
- ・長門市立中学校入学式 平成20年4月 8日（火）
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成21年3月19日（木）
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成21年3月12日（木）

2. 点検及び評価結果

長門市教育委員会の基本方針に定める施策に関する事務事業のうち、点検及び評価の対象事務事業として抽出し、事業担当課において評価を行った。

《点検及び評価対象事業一覧》

重点施策	具体的施策	主要事務事業	事業所管課	番号	新規継続の別
就学前教育の充実	就学前教育の支援	幼保・小連携教育推進事業	学校教育課	1	継続
		私立幼稚園運営費補助事業	〃	2	〃
		幼児教育研究大会	〃	3	完了
	地域・家庭教育の推進	家庭教育学級の開設	生涯学習スポーツ振興課	4	継続
学校教育の充実	教育内容の充実	外国語指導助手（ALT）導入	学校教育課	5	〃
		学力向上対策委員会の開催	〃	6	〃
		やまぐち学校教育支援員活用促進事業	〃	7	〃
		特別支援教育教員補助事業	〃	8	〃
		特別支援教育充実事業	〃	9	〃
		教育支援センターを開設	〃	10	〃
		いじめ問題等に係る教育相談員設置	〃	11	〃
		長門市心の教育充実支援事業	〃	12	〃
		山口県青少年劇場等を開催	〃	13	〃
		金子みすゞ児童作品コンクール	〃	14	〃
		進路対策事業	〃	15	〃
		研究指定校補助事業	〃	16	〃
		英語活動等国際理解活動推進事業	〃	17	完了
		きめ細やかな就学指導の推進	就学指導委員会の開催	〃	18
	保護者の経費負担の軽減	特別支援教育就学奨励費補助事業	〃	19	〃
		要保護就学援助費補助事業	〃	20	〃
		準要保護就学援助費補助事業	〃	21	〃
		通学費等補助事業	教育総務課	22	〃
		スクールバス運行事業	〃	23	〃
	教育環境の整備・充実	深川小学校改築事業	〃	24	〃
		学校給食施設改築事業	〃	25	〃
		学校給食運営委員会の開催	学校教育課	26	〃
		学校施設維持補修	教育総務課	27	〃
		学校施設耐震補強推進事業	〃	28	〃
		児童生徒の情報活用能力の育成	〃	29	〃
		学校等の安全対策	〃	30	〃
		栄養教諭を中核とした食育推進事業	学校教育課	31	〃
		放課後子ども教室開催	生涯学習スポーツ振興課	32	〃
		私立高等学校私学振興補助事業	学校教育課	33	〃
		教員の資質の向上	学校教育研究大会等	〃	34
	夏季教育研究講座		〃	35	〃
	指導主事教育研修		〃	36	〃

重点施策	具体的施策	主要事務事業	事業所管課	番号	新規継続の別
生涯学習・スポーツの推進	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備	生涯学習	生涯学習スポーツ振興課	37	継続
		公民館企画運営委員会設置	〃	38	〃
		社会教育委員会議設置	〃	39	〃
		各公民館主催事業	〃	40	〃
		公民館の利用促進	〃	41	〃
	人材の発掘・活用	青少年体験活動・ボランティア活動支援センター事業	〃	42	〃
	社会教育施設の維持管理	くじら資料館運営事業	〃	43	〃
		村田清風記念館運営事業	〃	44	〃
	読書活動の推進	図書等整備	〃	45	〃
		移動図書館巡回サービス	〃	46	〃
		こども読書活動推進体制	〃	47	〃
	人権教育の推進	地域人権啓発活動活性化事業	学校教育課	48	〃
		人権教育推進研究補助事業	〃	49	継続
		人権教育推進組織運営	生涯学習スポーツ振興課	50	〃
		人権教育講座の開設	〃	51	〃
		人権教育啓発用映画フィルム整備	〃	52	終了
		人権教育啓発推進事業	〃	53	継続
	青少年の健全育成と 婦人活動の推進	婦人団体活動支援	〃	54	〃
		青少年健全育成団体支援事業	〃	55	〃
		特別表彰及び実務従事者への激励	学校教育課	56	〃
		成人式の開催	生涯学習スポーツ振興課	57	継続
	スポーツの推進と参加促進	スポーツ教室開催事業	〃	58	〃
		スポーツテスト	〃	59	〃
		学校体育施設開放事業	〃	60	〃
総合型地域スポーツクラブの育成		〃	61	〃	
生涯学習・スポーツ指導者の育成	ニュースポーツ等指導者研修会	〃	62	〃	
伝統文化の保存・継承	伝統文化財の保存	赤崎神社楽棧敷整備事業	〃	63	〃
	継承活動への支援	長門市文化財保護協力員事業	〃	64	〃
		古文書講座	〃	65	〃
		村田清風競書大会	〃	66	〃

事務事業の成果に関する説明書
(平成20年度報告)

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
就学前教育の支援	1. 幼保・小連携教育推進事業 幼稚園保育園と小学校の連携を図るため、年2回の推進協議会を開催する為の費用を支出した。 H19・・・2回開催 53千円 H20・・・2回開催 52千円	就学前教育から小学校教育への接続期に焦点をあて、指導体制を整えることができた。家庭との連携強化が課題である。
	2. 私立幼稚園運営費補助事業 私立幼稚園に対し運営費の一部を補助した。 (一園あたり75,000円) H19・・・150千円 H20・・・150千円	私学振興、教育振興及び子育て支援が図られる面もあるが、少額補助であるため、見直しが必要である。
	3. 幼児教育研究大会 幼児教育に係る共通課題について研究するための研究大会を開催した。(H20のみ) 179人参加 102千円	幼稚園の研究大会であるが、市内のほとんどの保育園や小学校から参加があり、幼保・小連携の視点からも有意義な研修の場となった。
地域・家庭教育の推進	4. 家庭教育学級の開設 家庭教育学級の開設に対する補助を実施した。 H19・・・学級数21 415千円 H20・・・学級数27 530千円	自発的な活動が行われ、家庭教育について有意義な学習ができている。
教育内容の充実	5. 外国語指導助手(ALT)導入 生きた英語を提供し、外国語会話の補助を行った。 ALT1人あたり年間派遣日数195日 H19・・・15,080千円 H20・・・15,325千円	小学校外国語導入に伴い、外国語教育の充実が図られるが、より効果的な活用充実に向けて民間委託の検討が必要である。
	6. 学力向上対策委員会の開催 学校、家庭、地域及び行政で構成する学力向上対策委員会の開催と学力調査を実施した。 対策委員会年2回、学力調査(小4・5、中1・2) H19・・・1,063千円 H20・・・1,062千円	学力調査結果を踏まえ、家庭・地域・学校からの代表で構成された対策委員会を開催し、総合的に学力向上に取り組む方策を具体化した。
	7. やまぐち学校教育支援員活用促進事業 小学校1学年から4学年までの21人以上の学級において、特別な配慮を要する児童が3人以上在籍している学校に配置した。(県の基準による) H19・・・6人配置 5,501千円 H20・・・5人配置 4,419千円	学校から要望する声が強くと活用度も高い。きめ細やかな指導体制を充実し、学級運営の安定化を図った。
	8. 特別支援教育教員補助事業 発達障害の児童生徒に対する適切な支援のため配置した。 H19・・・週160時間配置 9,709千円 H20・・・週124時間配置 8,363千円	個のニーズに応じた円滑な学習・生活支援に向けた適正な配置に努めた。
	9. 特別支援教育充実事業 地域コーディネーターが巡回し、気になる子どもの発達検査を行うとともに、研修会を開催し、支援指導を行った。各校1回 計21回 H19・・・51千円 H20・・・52千円	地域コーディネーターが校内研修会の講師を務め、校内支援体制強化へのアドバイスを積極的に行った。発達検査の要請が少なかつたため、各校に事業内容を周知徹底する必要がある。

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
教育内容の充実	10. 教育支援センターを開設 不登校児童生徒及び保護者との相談、訪問指導等を行った。支援センター会議 10 回開催 (教育相談員 3 人、訪問指導員 1 人設置) H19・・・5,765 千円 H20・・・5,792 千円	不登校児童生徒の増加により、センターの果たす役割は大きくなっている。センターの運営について、改善策を検討する必要がある。
	11. いじめ問題等に係る教育相談員設置事業 カウンセラーによる専門的な相談活動を行った。 臨床心理士 1 人配置 H19・・・728 千円 H20・・・772 千円	生徒指導上の諸問題に対する臨床心理士によるカウンセリングは、大変有効なものである。
	12. 長門市心の教育充実支援事業 研究校を年次的に指定し、道徳教育についての研究を実施した。(1 回開催) H19・・・40 千円 H20・・・10 千円	道徳教育研究発表会が通小で開催され、有意義な研究会となった。
	13. 山口県青少年劇場等を開催 水準の高い優れた文化に触れるための公演等開催した。(演劇、電子オルガンコンサートなど) 希望校 8 校 H19・・・580 千円 H20・・・526 千円	近隣の学校が合同開催することで、予算を有効に執行することができた。
	14. 金子みすゞ児童作品コンクール 小学校児童に作品を募集、12 点を表彰した。 H19・・・応募総数 315 点 350 千円 H20・・・応募総数 300 点 322 千円	多数のコンクールがあるため応募総数を増やすことは難しい。
	15. 進路対策事業 辺地の中学校に対し進路対策費用として補助した。通・俵山・向津具に対し各校 30 千円を補助 H19、H20・・・90 千円	3つの中学校への補助により進路対策費の地域格差の解消が図られた。
	16. 研究指定校事業 先進的な研究や特色ある教育活動・学校づくりを推進し、その成果を広めていくため、研究指定校に対し活動費を補助した。 年間 1,600 千円	本市教育の推進にふさわしい研究に対して補助することで、その成果を市内の小中学校に広めていく。
	17. 英語活動等国際理解活動推進事業 小学校高学年での外国語活動実施に向けた地域のモデルとなる拠点校を指定し、実践的な取り組みを推進した。(H20～) 神田小学校 250 千円	公開授業、他校の校内研修会の講師、研修講座での事例発表等、研修の成果を十分に還元することができた。
きめ細やかな 就学指導の推進	18. 就学指導委員会の開催 心身に障害をもつ子どもの適正な就学を目的として、年 3 回就学指導委員会を開催した。 H19・・・106 千円 H20・・・152 千円	審議する児童生徒が増加の傾向にあるが、それぞれの立場から適切な助言をいただき、適正就学へとつながっている。出席が困難な委員については委嘱を再検討する必要がある。
保護者の経費 負担の軽減	19. 特別支援教育就学奨励費補助事業 特別支援学級就学児童の保護者に対し、学用品費等を援助した。 H19・・・小学生 26 人 796 千円 中学生 4 人 140 千円 H20・・・小学生 30 人 1,041 千円 中学生 12 人 376 千円	保護者の教育費負担を軽減することにより、特別支援教育の充実が図られた。

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
保護者の経費負担の軽減	20. 要保護就学援助費補助事業 要保護児童生徒の保護者に対し、生活保護で支給されない就学旅行費・医療費等を支給した。 H19・・・小学生 2人 31千円 中学生 0人 H20・・・小学生 5人 119千円 中学生 2人 80千円	生活保護で支給されない修学旅行費等を補助することにより、要保護児童生徒の修学旅行参加が可能となった。
	21. 準要保護就学援助費補助事業 要保護に準じる保護者に対し、学用品費・通学用品費・修学旅行費・学校給食費・医療費等を支給した。 H19・・・小学生 196人 11,728千円 中学生 91人 7,849千円 H20・・・小学生 179人 10,593千円 中学生 109人 9,951千円	経済的に困難な保護者の教育費負担を軽減することにより、児童生徒の就学継続が図られた。
	22. 通学費等補助事業 遠距離通学の児童生徒の保護者が購入するバス定期や自転車通学用ヘルメット等の購入に対し補助した。 H19・・・小学生 61人 2,143千円 中学生 93人 221千円 H20・・・小学生 45人 1,641千円 中学生 87人 378千円	合併前の補助基準のため、見直しのための検討が必要である。
	23. スクールバス運行事業 学校統廃合による通学条件の緩和を目的としてスクールバスを運行した。 H19・・・油谷地区4台 18,313千円 長門地区2台 7,455千円 H20・・・油谷地区4台 18,313千円 長門地区2台 7,455千円	学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒のために、今後とも必要な事業である。一方、利用児童生徒数が減少するなか効率的な運行の検討が必要である。
教育環境の整備・充実	24. 深川小学校改築事業 深川小学校を改築するため、公募型プロポーザル方式により基本設計業務を実施した。 H20・・・24,142千円	改築検討委員会等の開催により多くの意見を反映することができた。計画どおり進捗し、21年度は実施設計に取り組むことができた。
	25. 学校給食施設改築事業 調理施設を1センター化するため、新学校給食センターの基本・実施設計業務を実施した。 H20・・・10,978千円	業務は順調に進捗し、21年度は工事に着手することができた。平成22年9月の供用開始に向け研修等が必要。
	26. 学校給食運営委員会の開催 学校給食運営委員会の開催し、学校給食の円滑な運営を図るための調査検討を行った。 年3回 委員17人 H20・・・9千円	給食費の改正と「弁当の日」を制定し今後の給食運営の適正化を図った。今後は単価、献立の統一化等の検討。
	27. 学校施設維持補修 施設の老朽化に伴う危険箇所の改修工事等を実施した。 H19・・・小学校 11箇所 23,617千円 中学校 18箇所 22,807千円 H20・・・小学校 13箇所 7,185千円 中学校 14箇所 6,859千円	適切な教育環境が整えられた。災害時にも対応できる早期の施設改修が必要。
28. 学校施設耐震補強推進事業 昭和56年度以前に建築された学校施設の耐震診断業務実施した。(仙中・深川中・明倫小は繰越) H20・・・1,943千円	油谷小学校の校舎・屋体の耐震1次診断を実施。伊上小学校との統合で改築が急がれる。事業調整や財源の確保。	

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
教育環境の整備・充実	29. 児童生徒の情報活用能力の育成 学校の教育用パソコンを更新し、児童生徒の学習環境の充実を図った。 新規・継続更新 H19・・・小学校 5,238 千円 中学校 13,985 千円 H20・・・小学校 7,806 千円 中学校 15,518 千円	パソコンは技術進歩が著しく、すぐに陳腐化するため、適宜更新が必要である。多額の経費が必要であるため、計画的に取り組む必要がある。
	30. 学校等の安全対策（防犯ブザーの設置） 新小学生を対象に防犯ブザーを支給した。 H19・・・対象者 287 人 H20・・・対象者 271 人	支給に併せて、年 1 回、電池の交換を実施。日常の電池管理の指導や使用方法の徹底を図ること。
	31. 栄養教諭を中核とした食育推進事業 明倫小学校を中心に食育を展開しているが、推進活動の成果を広めるための検討会議を開催した。 年 2 回開催 1,251 千円	会議で検討した食育講演会、親子料理教室、給食試食会等の実施により、家庭・地域・近隣学校に成果を広めることができた。
	32. 放課後子ども教室開催 放課後の空き教室を利用し、地域ボランティアによる子ども教室を実施した。 俵山小・神田小の 2 校で平日の放課後に開催 H19・・・2,527 千円 H20・・・2,257 千円	授業日に毎日実施されており、子どもの安心安全が確保されている。
	33. 私立高等学校私学振興補助事業 私立高等学校の市有地借上料を補助した。 H19・・・2,448 千円 H20・・・2,693 千円	私立高等学校の運営を支援することにより、私学振興、教育振興及び地域振興が図られた。
教員の資質の向上	34. 学校教育研究大会及び学校教育研究会 教育研究大会の開催と、それに向けた 8 ブロックの指定校に研修補助を行った。	1 月 5 日長門市学校教育研究大会を開催した。 8 ブロックで小中連携の研修会が計画的に実施された。
	35. 夏季教育研究講座 教職員の資質向上のため、夏季に研究講座を実施した。 H19・・・4 講座 112 千円 H20・・・4 講座 110 千円	7 月 22、23 日夏季教育研究講座を開催した。 教職員の資質向上が図られた。
	36. 指導主事教育研修 指導主事が先進校を視察し、成果を各学校に広める。 H19・・・135 千円 H20・・・142 千円	全国レベルの研究発表会や先進校視察に参加することで、教育施策のさらなる推進を図った。
生涯学習の充実	37. 生涯学習 夏休み講座、料理教室、リクエスト講座等各公民館で特色ある講座を実施、また高齢者学校（学級）の開設や、子育て支援を目的とした交流会等も開催した。	各公民館で多様な学習が行われた。 今後は地域づくりをテーマに学習の充実を図りたい。
	38. 公民館企画運営委員会設置 自主運営組織を立ち上げ、自ら立案した事業の実践活動を行う。	全公民館に設置する予定であったが 2 公民館が残った。 組織の活動が活発になるよう促したい。

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
生涯学習推進体制の整備	39. 社会教育委員の会議設置 年4回定例会を開催した。 H19・・・延べ46人出席 248千円 H20・・・延べ44人出席 272千円	委員の活発な意見があり、今後の社会教育活動の示唆となっている。
	40. 各公民館主催事業 生涯学習発表会（公民館まつり）等を開催し、日頃の練習の成果発表の場を設けた。 各公民館で実施	各公民館で特色ある催しが開催され、所期の目的は達成された。
	41. 公民館の利用促進 地域文化・コミュニティの発信源として、また社会教育・社会体育の情報源としての役割を持ち、公民館利用のPRをかね、公民館独自の広報誌を発刊した。	各公民館で発行し、地域の情報、公民館の情報提供をしている。
人材の発掘・活用	42. 青少年体験活動、ボランティア活動支援センター事業 青少年の奉仕活動、体験活動の積極的な推進のため、推進協議会を設置し、人材バンク「玉手箱」の充実など体制整備を図った。 H19・・・人材バンク利用回数 32回 " 登録者数 80人 64千円 H20・・・人材バンク利用回数 20回 " 登録者数 90人 40千円	活用が学校のみで、活動する者も固定しているため、幅広い広報活動を行い活用増を図ることが必要である。
社会教育施設の維持管理	43. くじら資料館運営事業 鯨及び漁村文化に係る民俗資源の保存展示を行い、観光資源としても活用した。 H19・・・来館者19,343人、維持管理費7,119千円 H20・・・来館者17,028人、維持管理費6,728千円	年々入館者が減少している。物品販売の促進や、市内文化施設の共通券を発行するなど、入館者増を図っていくことが必要である。
	44. 村田清風記念館運営事業 村田清風に関する遺品史料の展示を行い、観光資源としても活用した。 H19・・・来館者2,758人、維持管理費5,757千円 H20・・・来館者2,217人、維持管理費5,931千円	年々入館者が減少している。物品販売の促進や、市内文化施設の共通券を発行するなど、入館者増を図っていくことが必要である。
読書活動の推進	45. 図書等整備 豊富な図書、視聴覚資料等を整理・提供するためデータ入力を委託したり、新刊図書を購入した。 H19・・・12,689千円 H20・・・11,000千円	計画的に図書の整備が図られた。
	46. 移動図書館巡回サービス 移動図書館により巡回することで、遠路者が本を借り易くなった。 H19・・・690千円 H20・・・845千円	交通弱者等に対して必要な図書資料の提供が出来、目的を達成しており、今後も続ける必要がある。
	47. こども読書活動推進体制の整備 読み聞かせ出前サービスや普及イベントを実施した。 利用延べ人数 H19・・・4,938人 182千円 H20・・・4,582人 305千円	小学校や、図書館でボランティアによる読み聞かせサービスを行い、子どもが自主的に読書活動が出来るようになった。

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
人権教育の推進	48. 地域人権啓発活動活性化事業 「人権の花」運動に取り組み、人権尊重への精神育成を図った。(H20～) 市内2校が受託 32千円	花を育てることで、命を大切に する心や思いやりの心が育つとも に、児童の人権意識の高揚が図られ た。
	49. 人権教育推進研究補助事業 人権教育に係る講演会開催や書籍の購入等に対 し補助を行った。 H19・・・補助箇所数 21校 210千円 H20・・・補助箇所数 21校 210千円	各学校から提出された「人権教育 のまとめ」には、それぞれの学校の 人権教育への積極的な取り組みがま とめられている。
	50. 人権教育推進組織運営 人権や同和問題についての正しい認識を広げる ため、人権教育推進委員会を開催した。 H19・・・年5回開催 366千円 H20・・・年4回開催 310千円	会員の活動は活発で、企画運営に 主体的に取り組んでいただいている。
	51. 人権教育講座の開設 市民を対象に人権教育を推進するための講座を 開設した。 人権セミナー3回開催 H19・・・242千円 H20・・・262千円	セミナー参加者の大半が学校及び 行政関係者であり、一般住民の参加 者が少ない。公民館単位でのセミナ ー開催などの検討が必要である。
	52. 人権教育啓発用映画フィルム整備 啓発用ビデオ2本購入 H19・・・123千円 H20・・・132千円	人権啓発用の資料として購入、利 用については人権セミナー或いは学 校で使われている。
	53. 人権教育啓発推進事業（人権フェスティバル） 市職員、市民を対象に講演会を開催した。 H19・・・参加者400人 439千円 H20・・・参加者380人 600千円	市民が人権について、考えてもら う良い機会が提供でき、アンケート からも好評であったと判断される。
青少年の健全育 成と婦人活動の 推進	54. 婦人団体活動支援 長門市連合婦人会への活動費を補助した。 797千円	構成員が高齢化しており、組織の あり方について、検討が必要である。
	55. 青少年健全育成団体支援事業 ジュニアリーダー、各種団体（青少年育成市民 会議、PTA 連合会など）への補助を実施した。 H19・・・4団体 681千円 H20・・・4団体 681千円	会及び会員の活動は活発で様々な 取り組みが行われている。
	56. 特別表彰及び実務従事者への激励 県レベル以上の大会で優秀な成績をおさめた者 に対し賞状と記念盾を贈った。 H19・・・表彰校 12校 157千円 H20・・・表彰校 9校 121千円	実務従事者については該当者がい なかった。
	57. 成人式の開催 1月3日、新成人に対しお祝い行事を行った。 H19・・・参加者 401人 1,366千円 H20・・・参加者 387人 1,343千円	対象者にも概ね好評である。 記念品等の見直しが必要と思われ る。

事務事業	事業の概要と成果	点検・評価
スポーツ活動の推進体制の整備	58. スポーツ教室開催事業 各種スポーツ教室を開催した。 (ウォーキング、ニュースポーツ等) H19・・・491千円 H20・・・363千円	誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催した。 今後もニーズに見合った種目の検討をしていく。
	59. スポーツテスト(体力・運動能力調査) 体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得た。 66千円	運動の大切さと健康への関心を深めることができた。
	60. 学校体育施設開放事業 地域住民のスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放した。 H19・・・467千円 H20・・・453千円	地域住民のスポーツ活動の場として大切な事業であるが、施設の老朽化が懸念される。
	61. 総合型地域スポーツクラブの育成 誰もが気楽にスポーツを楽しめる様にと始まった組織(クラブネット大畑)へ助成している。 H19・・・80千円 H20・・・80千円	スポーツ振興は勿論のこと、地域づくりの一役を担っている。 今後も独立運営について期待している。
生涯学習・スポーツ指導者の育成	62. ニュースポーツ等指導者研修会 指導者の育成のため研修会を開催した。 H19・・・参加者12人 31千円 H20・・・参加者20人 52千円	研修会に積極的に参加出来るよう工夫し、指導者の育成を図りたい。
伝統文化財の保存	63. 赤崎神社楽棧敷整備事業 国指定文化財に指定されている楽棧敷周辺環境の整備(草刈、庭木剪定、清掃) H19・・・691千円 H20・・・761千円	棧敷の良好な管理状態を保つことは、保護並びに恒久的な保存の観点から欠くことのできない事業である。
継承活動への支援	64. 長門市文化財保護協力員事業 文化財の状況等を把握するため巡回・調査し、また依頼に応じ案内も行った。教育委員会へ定期的に文化財状況の報告を受けた。(任期は2年) 巡回・調査回数3回 H19・・・250千円 H20・・・276千円	文化財保護の観点から、保護協力員の確実な現場検証の実施が必要である。
	65. 古文書講座 村田清風が残した古文書を教本とし、当時の時代背景を検証しながら、古文書の解説について学んだ。年1回(延べ4日間) 受講者数20人 13千円	古文書の解説は、日本の歴史や文化に触れる機会となる。
	66. 村田清風競書大会 村田清風の語句や詩の中から選んだものを清書し、その技能を競った。年1回開催 H19・・・90千円 H20・・・71千円	日本古来の文化に触れることは情操教育の場として必要である。